

XII. 理論

(表 1 2)

1 2 - 1

墨字で書かれた言葉などを点字の記号で表すよりもむしろ、墨字の表記に従いそのまま点訳するという国際間の取り決めは、理論の表記においての合意を可能にした。この合意は、特に視覚障害者と晴眼者の音楽家達が共に学んだり、仕事をしていく上で助けとなっている。

A. コード記号

1 2 - 2

賛美歌、一般的な歌の本、歌詞だけの本やポピュラー音楽などの多くの種類の音楽出版物には、ほとんどコード記号が付いている。

“G” とか “D 7” のような非常に単純なものがあったり、非常に複雑なものもある。ピッチを変更する記号と国際的合意を持つ次の記号に加えて、ほとんどの物は文字による点字で書き表す。

例 1 2 - 2

∴ ∴	コード記号部分のための前置符
∴	小さな丸
∴ ∴	線で2分された小さな丸
∴	小さな三角形
∴ ∴	線で2分された小さな三角形
∴ ∴ ∴	特別な七の和音のためのイタリック体の7

1 2 - 3

プラス、マイマス、かっこ、斜線、大文字、小文字、イタリック体の記号は、それぞれの国の文字に使用する符号であり、各出版物に一覧表で示されるべきである。本書に使われているこれらの記号は、下記の通りである。

例 1 2 - 3

∴	斜線	/
∴ ∴	丸カッコ	()
∴	プラス記号	+
∴	マイナスあるいは文中のハイフン	-
∴	小文字	d
∴	大文字	D

1 2 - 4

臨時記号は標準の音楽記号が使われ、ピリオドは3の点を記す。

1 2 - 5

数字は数符の後に書き、上の4つの点を使用する正規の数字を使う。墨字で数字が縦に書かれている場合は、下から上に点訳する。

1 2 - 6

次のものは、国際的記号を使ったコード記号の代表的なリストである。

例 1 2 - 6

Dm	⠠⠄⠠⠁⠠⠄
Dmaj7	⠠⠄⠠⠁⠠⠄⠠⠗⠠⠗
F#dim7	⠠⠄⠠⠁⠠⠄⠠⠗⠠⠗⠠⠄
F#° 7	⠠⠄⠠⠁⠠⠄⠠⠗⠠⠗
C7sus	⠠⠄⠠⠁⠠⠄⠠⠗⠠⠗⠠⠄
Dm(#7)	⠠⠄⠠⠁⠠⠄⠠⠗⠠⠗⠠⠄
B7-9	⠠⠄⠠⠁⠠⠄⠠⠗⠠⠗⠠⠄
Gmaj7+9	⠠⠄⠠⠁⠠⠄⠠⠗⠠⠗⠠⠄⠠⠗⠠⠗
C△7	⠠⠄⠠⠁⠠⠄⠠⠗⠠⠗
C△ 7	⠠⠄⠠⠁⠠⠄⠠⠗⠠⠗
G6/D	⠠⠄⠠⠁⠠⠄⠠⠗⠠⠗

1 2 - 7

バー・オーバー・バー形式では、コード記号は歌詞か音符の真下に揃えて記す。前置符は不要である。書かれている場所から、それらがコード記号であることは充分に見分けられる。例 1 2 - 7 はポピュラーやフォークミュージックであるが、ギター、撥弦楽器、或いはキーボードで即興演奏するための“手がかり”となるコード記号が歌詞に付いているだけである。

墨字では、コード記号は歌詞の上に揃え、点字では、下に揃える。

例 1 2 - 7

⠠⠄⠠⠁⠠⠄⠠⠗⠠⠗	⠠⠄⠠⠁⠠⠄⠠⠗⠠⠗	⠠⠄⠠⠁⠠⠄	⠠⠄⠠⠁⠠⠄⠠⠗⠠⠗
	⠠⠄		⠠⠄⠠⠁⠠⠄
⠠⠄⠠⠁⠠⠄⠠⠗⠠⠗	⠠⠄⠠⠁⠠⠄⠠⠗⠠⠗	⠠⠄⠠⠁⠠⠄	⠠⠄⠠⠁⠠⠄⠠⠗⠠⠗
			⠠⠄
F	C7		F

Happy birthday to you, Happy birthday to you.

1 2 - 8

もしメロディが書かれている時は、それを3行目に平行して加える。歌詞を、常にメロディの上に記す国もあれば、下に記す国もある。コード記号を歌詞に合わせて記す時には、コードと一致させるために、必要ならば歌詞にマス空けをする。

例 1 2 - 8 (a)は、歌詞が上に書かれ、(b)は、メロディの下に歌詞がある。

どちらの場合も、コード記号は歌詞に揃えられている。

(a)では、3・6の点が歌詞の間のマスを埋めるために使われているが、(b)では使われていない。どちらも、コード記号の間のマスは埋められていない。コード記号の間は、少なくとも1マスは空けなくてはならない。

例 1 2 - 8

(a)

Braille code symbols are arranged in four rows above the lyrics. The first row contains four groups of symbols. The second row contains five groups. The third row contains three groups. The fourth row contains four groups. The lyrics are: How can I ever forget you,

(b)

Braille code symbols are arranged in four rows below the lyrics. The first row contains two groups. The second row contains five groups. The third row contains three groups. The fourth row contains four groups. The lyrics are: How can I ever forget you,

Chord symbols: F Fmaj7 F7 B_b F

How can I ev- er for- get you,

1 2 - 9

コード記号を歌詞に合わせて書く場合、コードが歌詞の前に来たり、後に来るのを表す事も出来る。これは、コード記号を言葉より少なくとも2マス左に書いたり、1マス右に書くことによって表す事が出来る。言葉の後の句読点は、マス数には数えない。

例 1 2 - 9

Braille notation for chords: G7, C, B7, Em.

G7 C B7 Em

All through the night. When

1 2 - 1 0

コード記号をメロディの下に記す時は、対応する音か、対応する小節の頭に合わせる。例 1 2 - 1 0 では、コード記号を小節の頭に合わせ、それぞれのコード記号間は 1 マス空けている。

例 1 2 - 1 0

Braille notation for chords: D7, G, B7, Em.

D7 G B7 Em

All a - lone, I'm all a - lone;

1 2 - 1 1

ピアノ伴奏と共にコード記号が記されているならば、それは左手パートの下に置かれ、通常小節の頭を揃える。例にある空マスを埋める 3 の点は、バー・オーバー・バー形式のみに使われる。

例 1 2 - 1 1

Braille notation for chords: G, C, D7, G.

G C D7 G

All a - lone, I'm all a - lone;

1 2 - 1 2

コード記号用の前置符は、セクション・バイ・セクション形式で使われる。

例 1 2 - 1 2 は 1 2 - 1 1 と同じ音楽である。

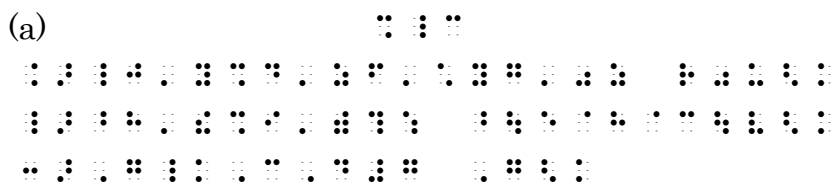
(a)では、文字記号（訳注：3・4・5 の点）が前置符 $\cdot \cdot \cdot$ の後の、コード記号パートに記されている。コードの間はマス空けしない。マス空けは小節線である。コードが同じ長さでない時は、ステム記号が長さを示すためにコード記号の後ろに記される。繰り返しや、1回目、2回目を表す記号などは通常通り使える。

休符（5の点のついた）はコード記号のない小節を示したり、小節の頭にコード記号がない事を表すために使うことができる。

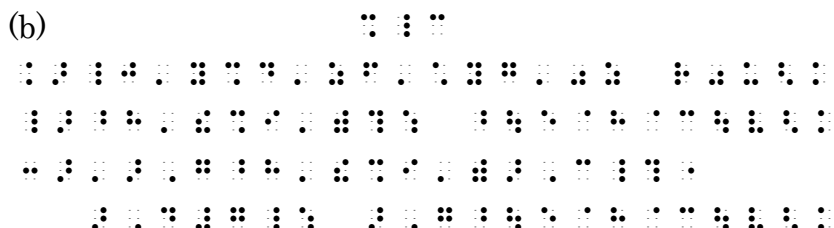
(b)では、コード記号の正確な位置を示すために、それぞれのコード記号の後にバスの旋律が繰り返されている。

例 1 2 - 1 2

(a)



(b)



1 2 - 1 3

コード記号の音価を示すために、それぞれの地域や国での方法を使ってもよい。

1 2 - 1 4

いくつかの墨字記号、例えば小さな丸（ディミニッシュ）と線入りの小さな丸（ハーフ・ディミニッシュ）は、標準的な意味を持っている。

他のものは、出版物によって異なった意味を持っている。つまり、小さな三角形とイタリック体の7は、異なった作曲家によって、メジャー7、あるいはディミニッシュ7を表すものとして使われている。勿論、全ての説明資料は点訳物に記される。下の例(a)と(b)では、記号はメジャー7のコードを表している。どちらの場合も、コード記号の意味は墨字の出版物の冒頭に説明されている。

表 1 5 の中の、右手の音程を下から上に読んでいく場合の前置符が、これらの例で使われている。1 2 - 1 4 (b)では、“音符”は、ジャズギター奏者にとって単にリズムを示すものでしかない。

例 1 2 - 1 4 (上に読んでいく音程)

(a)

Braille notation for example (a) showing rhythmic patterns for a 1 2 - 1 4 sequence. It consists of three lines of Braille characters representing notes and rests.

D-7 G7 \flat 9 C Δ

Musical notation for example (a) in treble and bass clefs, showing chords and notes corresponding to the Braille notation above. The chords are D-7, G7, \flat 9, and C Δ .

(b)

Braille notation for example (b) showing rhythmic patterns for a 1 2 - 1 4 sequence. It consists of three lines of Braille characters representing notes and rests.

Gm C7 F7

Musical notation for example (b) in treble clef, showing notes and rests corresponding to the Braille notation above. The chords are Gm, C7, and F7.

B. 数字付きバスと和声分析

表 1 2 B の記号

⠠⠠	数字付きバスのパートのための前置符
⠠⠠ ⠠⠠⠠	数字
⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠	単独に書かれた臨時記号
⠠⠠	ひと続きの数字の中で省略されている数字
⠠⠠	継続横線
⠠⠠⠠	二本の継続横線
⠠⠠⠠	墨字で斜線が入った数字 (どの数字でも)
⠠⠠	斜線
⠠⠠	記号を区別する印

1. 数字付きバス

1 2 - 1 5

数字付きバスは、音の下に縦並びに書かれている数字、臨時記号および他の記号によって成り立っている。

点字においては、数字などは対応する音の後に記される。臨時記号や斜線やその他の記号は、縦並びの数字が出てくる度に、頭に数符を記さなくてはならない。

1 2 - 1 6

数字は下がり数字で書かれる。

1 2 - 1 7

縦並びの数字は、数字の順序よりむしろ、墨字で書かれた一番下の数字を音の後に最初に記し、その後は下から上に数字を続けて書く。

1 2 - 1 8

臨時記号の付いた数字は、臨時記号を先に記す。

1 2 - 1 9

(第3音を変化させる事を表す) 単独に書かれた臨時記号は、小節の終りに置かれる以外は、1・3の点を後ろにつける。

1 2 - 2 0

(音が高くなる事を表す) 斜線の入った数字は、数字の前に5・6の点を記す。

1 2 - 2 1

一連の数字の中で省略されている数字は、3の点で表す。

1 2 - 2 2

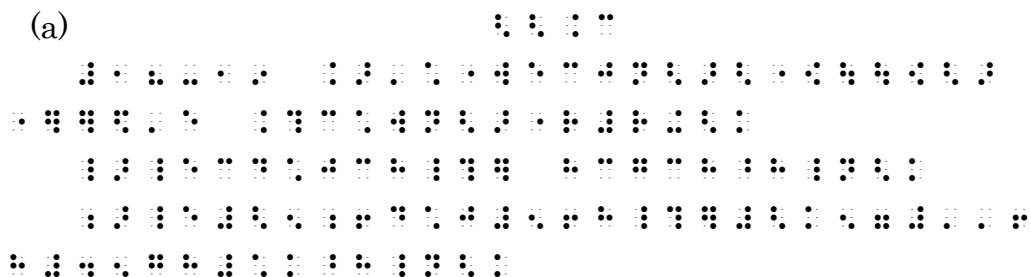
バス(低音)の音の下に、縦並びの数字が2つ以上ある時は、点字では数字の縦列の前に毎回数符をつける。例1 2 - 2 2は、1 2 - 1 5節から1 2 - 2 1節に挙げた要点を、例証している。

(a)は、セクション形式で、(b)は、バー・オーバー・バー形式である。

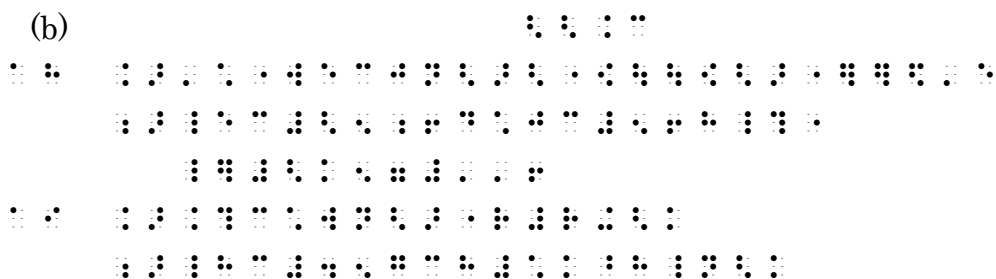
セクション形式を使用しているいくつかの国では、(a)のように左手部分を別に書くよりはむしろ、(b)のように左手の音を数字と一緒に書いている。

例 1 2 - 2 2

(a)



(b)



1 2 - 2 3

1 の点は、墨字の継続横線を表している。1 の点の数は横線の数と等しい。
 例 1 2 - 2 3 の縦に 2 つ数字がある所では、両方の数字は次の縦並びの数字まで継続横線によって続いている。

例 1 2 - 2 3



1 2 - 2 4

一つの音に付いている数字のリズムの変化を示す必要がある時は、数字の後に、音の長さを示すステム記号を、続けて記す。

c: N⁶ vii⁰⁷/V V

1 2 - 3 5

この国際的システムでは、一般的でない文字や数字の書き方に適用できる。つまり、墨字における文字と大文字の書き方は、そのまま記されるべきである。(a)はバー・オーバー・バー形式で、(b)はセクション形式である。

例 1 2 - 3 5 (上に向かって音程を読む)

(a)

(b)

S⁶ D⁶ D_p T_p⁶

1 2 - 3 6

文字が（墨字において x, n, a, s などを使って）経過音、非和声音や補助音、掛留音などを表している時は、文字記号（訳注：3・4・5 の点）を使ってその音符の前に記す方法か、あるいはその音符の真下の和音記号と同じ行に（文字記号よりむしろ）文字符（訳注：5・6 の点）を使う方法で、記すべきである。

例 1 2 - 3 6 では、大文字のローマ数字は長三和音を意味し、小文字は短三和音を意味する。Ic は、I 度の和音の第 2 転回形を表す書き方の例である。

(a) では、墨字譜表の上の記号は、それが関わる音符の前に記され、譜表の下にあるものは、音符の下に縦に揃えられている。(b) では、すべての記号が下に揃えられている。

例 1 2 - 3 6

(a)

Braille notation for example 1 2 - 3 6 (a). The notation consists of four lines of Braille symbols. The first line contains a single Braille symbol. The second line contains a sequence of Braille symbols. The third line contains a sequence of Braille symbols. The fourth line contains a sequence of Braille symbols.

(b)

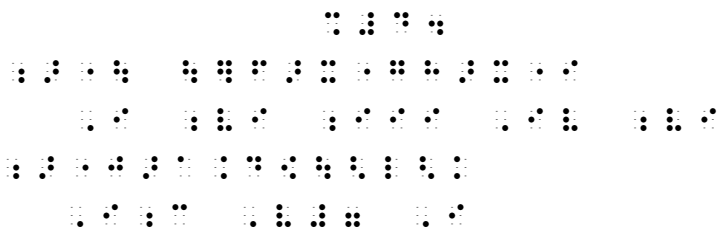
Braille notation for example 1 2 - 3 6 (b). The notation consists of four lines of Braille symbols. The first line contains a single Braille symbol. The second line contains a sequence of Braille symbols. The third line contains a sequence of Braille symbols. The fourth line contains a sequence of Braille symbols.

Musical notation for example 1 2 - 3 6. The notation shows a staff with a treble clef, a key signature of one sharp (F#), and a 4/4 time signature. The notes are: G4 (quarter), A4 (quarter), B4 (quarter), C5 (quarter), B4 (quarter), A4 (quarter), G4 (quarter), F#4 (quarter), E4 (quarter), D4 (quarter). Above the staff, there are markings: 'x' above the first two notes, 'x' above the third note, 'a' above the fourth note, and a fermata above the fifth note. Below the staff, there are chord symbols: I, vi, iii, IV, vi, Ic, v7, I.

1 2 - 3 7

和音は、墨字においてその場所が明白であり、混乱が起こりえない場合以外は、通常、縦に揃える。例 1 2 - 3 7 では、和音は縦に揃っていない。墨字譜は、例 1 2 - 3 6 (a) および (b) と同じものである。

例 1 2 - 3 7



1 2 - 3 8

数字付きバスとローマ数字の両方がバスに示されている時は、ローマ数字は下に記す事ができる。各和音の間に少なくとも1マス空けるために、マス空けを必要とする時には、小節線記号が使われる。

例 1 2 - 3 8

6 6
 5
 6 6
 4
 3
 6 6
 5
 3
 I6 II6
 5 5

C カッコ

表 1 2 C の記号

⠠⠠	⠠⠠	楽譜のカッコ (丸カッコ)
⠠⠠	⠠⠠	音符や要点を囲むカギカッコ
⠠⠠	⠠⠠	譜表上の角カッコ
⠠⠠	⠠⠠	譜表上の終りの不明瞭な角カッコ
⠠⠠	⠠⠠	譜表上の点線の角カッコ
⠠⠠	⠠⠠	譜表下の角カッコ
⠠⠠	⠠⠠	譜表下の終りの不明瞭な角カッコ
⠠⠠	⠠⠠	譜表下の点線の角カッコ

